

# 大平地域交通安全だより



危険はどっだ?

- 周りが見えていれば「スイカ割り」は簡単ですが、自照しをされると、その途端、格段に難しくなります。つまり、人間はそれだけ「視覚」に頼って周囲の情報を得ている—ということなのです。
- 交通場面でも、周囲の状況をしっかり見ていなければ、自照しをしながら運転・通行しているのと同じことで、当然、危険を見落としたり、発見が遅れたりして、交通事故を起こす危険性が非常に高くなります。
- 交通場面にある危険をいち早く察知し、その危険を回避するための安全通行・安全運転のノウハウを身につけ、しっかりと実践しましょう。



**栃木地区交通安全協会大平支部**  
(事務局：大平総合支所内 大平市民生活課)

## 夏のレジャードライブや帰省 安全・快適に！

■ 夏はレジャーや帰省などで長距離運転をする機会も増え、行楽客などで渋滞も発生しやすくなります。そうした状況のなか、安全で快適なドライブを楽しむためのポイントをまとめましたので、しっかり実践しましょう。

① すべての座席でシートベルトを着用！



- 小さな子どもには、その体格に合ったチャイルドシートを正しく使用しましょう。

② 運転中、燃料計をこまめにチェック！



- 特に地方や郊外では、ガソリンスタンドが少ないため、早め早めに給油しましょう。

③ 1～2時間おきに休憩し、眠いときは仮眠をとる！



- 仮眠や休憩後は、ストレッチなどで体を十分にほぐしてから運転を再開しましょう。

④ 行楽地や観光地の近くでは渋滞を予測！



- 漫然と運転していると、ブレーキが間に合わず、渋滞の列に追突する危険があります。

⑤ 目的地が近づいたら、改めて注意力を高める！



- 目的地に着く直前に発生する事故が少なくありません。自宅付近での事故にも要注意です。

⑥ 車内に子どもやペットを放置しない！



- 冷房が止まると、車内は非常に高温になります。短時間でも子どもやペットを車内に放置するのは絶対にやめましょう。

### おさない子どもを交通事故から守りましょう！

○ 幼児(3～6歳)や小学1～2年生のおさない子どもの歩行中の事故は、道路への「とび出し」によるものが大半を占めています…  
※子どもに違反があった事故に録る



子どもの保護者は…

- 道路への「とび出し」の危険性をしっかり理解させるとともに、道路を渡る前に必ず一度止まることを習慣にさせましょう。

ドライバーは…

- 特に住宅地域の生活道路では、子どもの「とび出し」を警戒し、子どもの早期発見に努めましょう。

### 夜間、車のヘッドライトは…上向きが基本！

○ 「上向きライト」は、「下向き」の2倍以上も先を照らすことができます。

- 【たから】
- ① 道路を横断する歩行者や自転車をより早く発見できます！
  - ② カーブなど、道路の先の状況を早めに察知することができます！

※交通量の多い市街地、対向車がくるとき、先行車の直後では、ライトを「下向き」に切り替えましょう。

夜間の横断歩行者との死亡事故のほとんどは「下向き」ライトで発生…



